

里當ノ流量ハ球磨川水系ト大體程度ヲ同シクスルモノノ如シ

三、水利及治水 本河川ニハ大正五年十月十三日河川法準用認可サレタリ下流部平野地方ニハ兩岸ニ堤防アリ洪水汎濫スルコトナシ。水利事業トシテハ用水最主ニシテ山間部ニ於テハ下嶽村和小路附近及南種子山村北種子山村内等所々取入口アレト大ナルモノナシ而シテ平野地方ニ灌漑スルモノハ宮原町ノ上流及下流ニ取入レ灌漑反別一ハ二、二一五町歩餘一ハ五三六町歩餘ナリ。本水系沿岸ニハ木材ノ産アレト陸送ニ依ルヲ以テ流材ナシ。漁業ハ鮎鱚ヲ主トシ年額三、〇〇〇圓許ナリ。普通水車ハ所々ニアレト發電水力ハ既設並許可地點共ニナシ

四、水力地點 本河川ニ於テ水力ニ利用シ得ヘキハ下嶽村和小路附近ヨリ北種子山村口ノ上迄ニシテ之ヨリ下流ハ勾配緩ニ上流ハ水量少シ。此ノ部分ニ於テ二地點ヲ得ヘキモ何レモ出力小ニシテサマテ有利ナラス

方白川及東方五箇瀬川流域ニ及ヒ此ノ間ニ明ナル分水嶺ナシ而シテ其ノ斜面ヲ流下スル多數ノ溪流モ傾斜ノ方向ニ從ヒ自ラ平行シ西向スルモノ相集リテ木山川ヲナシ西南流スルモノ七瀬川ヲナシ南流スルモノハ本流ヲナセリ九州山系ニ屬スル山岳ハ流域ノ東部ヨリ南部ニ亘リテ相連ル。阿蘇外輪山ノ南方ニ於テ之ニ接シテ黒峰起リ之ヨリ宮崎熊本縣界ニ沿ヒ小川岳向坂山三方山高嶽國見山等相並ヒ五箇瀬川及耳川トノ流域ヲ分テリ此ノ脈ハ國見山ヨリ南走スレト之ヨリ西方京丈雁俣山ニ至ル間自ラ連嶺ヲナシ球磨川水系トノ流域ヲ分テリ。尙之ヨリ北方ニ二、三ノ山岳アリ三方山ノ北ナル矢筈嶽京丈ノ北ナル目丸山洞ヶ嶽等之ナリ。是等ノ山岳ハ何レモ高サ四、〇〇〇尺乃至六、〇〇〇尺ヲ有シ急傾斜ハ溪谷ニ迫リ地形極メテ雄峻ニシテ其ノ勢緑川左岸ニ及ヘリ

雁俣山ヨリ西方ニ至レハ山ハ次第ニ高峻ノ度ヲ減シ白山嶽權現山等連リ氷川水系トノ流域ヲ分テリ權現山以西ニハ低山丘陵連リ又峻岳ヲ見ルヘカラス

梳城ノ中部即チ七瀬川ト緑川ノ中間ノ部分甲佐町御船町木山町ノ東部附近及甲佐町ノ南部西部等ハ高サ一、〇〇〇尺内外ナレト勾配急峻ニシテ凹凸多キ低山丘陵連亘シ

第二十九章 緑川水系

一、流域

(一)地形 緑川水系ノ流域ハ熊本縣ノ中部ヲ占メ阿蘇上益城下益城飽託ノ四郡ニ跨リ形狀長方形ニ近ク東西一二里南北八里ニ亘リ面積七四方里アリ

本流域ハ九州山系ノ北側ト阿蘇火山ノ接スル所ニ當リ地形地質共ニ複雑ナリ而シテ大體ニ於テ四種ノ部分ヨリ成レリ其ノ一ハ阿蘇外輪山ニシテ其ノ裾野ハ流域ノ北東部一帯ニ延展シ其ノ二ハ九州山系ニ屬スル山岳ニシテ流域ノ南部ヲ限リ其ノ三ハ古生層及片麻岩等ノ山岳ニシテ流域ノ中部ニアリ而シテ其ノ四ハ河口附近ノ平野ナリ

阿蘇火山ハ流域ノ北東ニ聳エ其ノ外輪山頂ハ高サ三、〇〇〇尺内外ヲ保チ南ニ彎曲シ東西ニ延ヒ東ニ俵岳冠ヶ嶽ノ側火山連リ白川ト流域ヲ分チ外部斜面ハ風雨ノ浸蝕ニ依リ多數ノ丘陵ト溪谷トヲ生シ波狀ノ起伏相錯シ尙所々熔岩ノ斷崖屹立スルアリ地形複雑ヲ極ムレト全體トシテハ緩傾斜ヲナシテ西ハ御船町附近ニ至リ南ハ濱町附近ヨリ緑川本流附近ニ至リ流域ノ東北部大部分ヲ掩ヒ尙北

地形甚タ錯綜ス其ノ中ニアリテ最著シキハ七瀬川ノ南ニ横ハレル間谷山ニシテ高サ二、六〇〇尺許東西ニ連嶺ヲナシ尙緑川北岸ニ甲佐山宇土ノ東ニ木原山等アリテ宇土半島ト相對セリ

緑川本流ノ兩岸ハ斯ノ如ク急峻ナル山岳連亘スレト其ノ間河川ノ兩岸少許ノ間一帯ノ地ハ阿蘇熔岩其ノ他ニ依リテ成レルヲ以テ緩起伏多ケレトモ急峻ヲ缺キ所々熔岩ノ斷崖屹立ス

甲佐町御船町木山町以西ハ一帯ニ平地ナリ

(二)地質 本流域ノ地質ハ複雑ナリ。阿蘇外輪山及俵山冠ヶ嶽等ノ側火山ハ安山岩ヨリ成リ其ノ火山噴出物タル熔岩火山灰等ハ之ヨリ流域北東部ヲ形成セリ流域内ノ波狀ノ丘陵連亘スル所熔岩ノ斷崖懸レル所ハ即チ之ニシテ外輪山ヲ中心トシ稍三箇ノ楔形ヲナシテ擴カリ西ナルモノハ木山附近ニ及ヒ又緑川本流及其ノ支流ノ溪谷ヲ埋メ濱町附近ヨリ甲佐附近ニ至ル一帯ニ延展スルモノアリテ之ノ間ニ花崗岩介在セリ

流域ノ南部ヲ形成セル九州山系ノ山岳ハ主トシテ古生層ノ砂岩及粘板岩等ヨリ成リ其ノ地溝ヲ埋メタル白堊系ノ砂岩及泥板岩ノ互層ハ二條ノ脈ヲナシテ西南ニ延ヒ本

流域ニ於テハ一ハ京文附近ニ現ハレ又一ハ古生層ノ北邊ヲナシ本流中流部ノ南部ヨリ支流津留川釋迦院川ノ南方ニ及ヘリ

本流域ニ於テハ又別種ノ古生層ノ斷片ヲナシテ存スルモノアリ其ノ質九州北部筑紫山脈ノモノト同シク輝岩角閃岩雲母剝岩ヨリ成リ七瀧川ノ南ナル間谷山ヲナシ西方本流右岸ニ終レリ。此ノ古生層ノ南ニ接シ片麻岩アリ綠川支流溪谷ノ火山噴出物ニ依リテ三箇ニ分タレ甲佐岳萬坂山等ヲ作り又一部ハ本流ノ西ニアリテ堅志田中間附近ヲ作レリ

流域内ニハ又三紀層アリ其ノ一ハ御船附近ヨリ二派トナリ一ハ本山附近ニ至リ一ハ間谷山古生層ノ北邊ヲナシ金内附近ニ及ヒ一ハ下流ナル木原山附近ヲ作レリ。是等ハ砂岩泥板岩礫岩等ヨリ成リ木山附近ハ砂礫ヨリ成レリ此ノ三紀層ト火山噴出物トノ間ニ於テ木山ノ東部ノ山ハ結晶片岩ヨリ成レリ。是等ノ三紀層ヲ繞レル低キ臺地ハ主トシテ洪積層ヨリ成リ川尻附近一帶ノ平野ハ沖積層ヨリ成レリ

(三) 林野状態 本流域内ノ林野状態ハ地形地質ニ從ヒテ各所異リ地形ニ於ケルト同様大體四區ニ分ツヲ得。其ノ

楕ノ植林モ所々ニ在リテ狀況良好ナリ

第四ノ區域ハ下流部ノ平野ニシテ耕地開ケ水田多シ

(四) 氣象 下流部暖ク上流部寒ク年平均氣温一三度乃至一六度ノ間ニ在リ。雨量ハ流域南部ノ山岳部ニ多カルヘキモ觀測ノ資料ナク其ノ他ハ流域全部ヲ通シ一八〇〇軒内外降雨日數一四〇日許ナリ

二河川ノ狀況

(一) 概説 緑川水系ハ阿蘇外輪山南西部斜面ノ水及九州山系主脈北側ノ水ヲ集メテ西流シ宇土半島ノ北ニ於テ海ニ注ク。本水系ハ其ノ流域ノ地形地質ノ複雑ナルカ如ク河川モ亦複雑ニシテ支流多ク而モ下流部ニ於テ合流シ本流ト甚タ關係薄キモノ少カラス

本流ハ向坂山ニ發シ阿蘇外輪山ヲ流下スル大矢川笹原川並國見山ヨリ來レル内大臣川ヲ合セテ大ヲナシ之ヨリハ支流ノ見ルヘキモノナク雁俣山白山嶽等ノ北麓ヲ西流シテ下流部平野ニ出テ御船町附近ニ於テ御船川ヲ合セ川尻町附近ニ於テ加勢川ヲ合セ遂ニ海ニ注ク。御船川ハ上流ヲ七瀧川トイヒ阿蘇外輪山冠ヶ嶽以南ノ水ヲ集メ間谷山ノ北ヲ流レテ本流ニ注キ加勢川ハ上流ヲ木山川トイヒ冠ヶ嶽以北ノ水ヲ集メ尙熊本市外水前寺ヨリ湧水流レテ

一ハ流域ノ北東部一帶ニ展延セル阿蘇外輪山ノ斜面ニシテ大矢川笹原川七瀧川八勢川等ノ上流部ノ流ルル所ナリ一帶波狀ノ起伏連リ全體トシテ麓部ニ向ヒテ傾斜シ主トシテ草原ニシテ樹木少シ而シテ冠ヶ嶽ヲ中心トシ東方外輪山中腹以上一帶及西方木山町附近ニ延ヒ殆ト流域ノ北邊ヲ限レル國有林アレト其ノ大部分ハ無立木地ナリ。此ノ部分ニ於テモ麓部ニ至ルニ從ヒ次第ニ其ノ狀況異リ大矢川兩岸附近並濱町中島村金内附近等一帶ハ河畔溪谷ニ水田アリ丘陵等ニハ草原ト畑ト交錯シ又杉ノ植林各所ニ在リ

第二ノ區域ハ九州山系ニ屬スル急峻ナル山岳即チ流域ノ東境ナル黒峰附近ヨリ向坂山國見山雁俣山白山嶽ニ至ル一帶ニシテ小峰村ノ一部ヲ除ク外山頂ヨリ緑川本流ノ左岸近クニ至ル迄一帶國有林ニ屬シ大部分濶葉樹林ニシテ古木鬱蒼トシ森林状態甚タ良好ナリ

第三ノ區域ハ流域ノ中央部即チ緑川本流中流部左右兩岸並北方一帶ノ山岳丘陵起伏連亘スル所ナリ河畔溪谷ニハ水田アリ殊ニ七瀧川附近ニ於テハ用水路開ケ山腹等ニモ水田ヲ見ルコト多シ。其ノ他一帶ハ濶葉樹林針葉樹林ト畑交錯シ其ノ内針葉樹最多ク又所々草原及竹林アリ杉

江津湖ニ入り更ニ流下スルモノヲ合セタリ

(二) 河況

緑川本流 緑川本流ハ之ヲ三ノ區間ニ分ツヘシ其ノ一ハ上流部内大臣川合流點迄ニシテ初メ河川未タ大ヲナササレト大谷川笹原川合流スルニ及ヒ次第ニ大トナル河岸河床主トシテ熔岩盤ヨリ成リ兩岸迫リ鍵戸橋以下ニ於テハ所々斷崖懸リ越早瀧白絲瀧ヲ始メトシ段流多ク河川全體トシテノ勾配四五分ノ一許ナリ

其ノ二ハ内大臣川合流點ヨリ上益城郡甲佐町附近マテニシテ多數ノ支流ヲ合セ川ハ既ニ相當大ナリ河川附近ニハ火山噴出物ヨリ成ル丘陵起伏シ所々熔岩ノ斷崖トナリテ河岸ニ屹立シ河畔ニ水田點在ス河幅二〇間乃至三〇間河岸ハ砂礫ヨリ成ル所ト岩盤露出スル所ト相半シ河床ハ主トシテ砂礫ヨリ成リ所々岩盤露出シ河川勾配筒川合流點以上九〇分ノ一内外以下一五〇分ノ一許ナリ

第三ノ區間ハ甲佐ヨリ下ニシテ河ハ平野ノ間ヲ流下ス河床河岸主トシテ砂礫ヨリ成リ勾配緩ニシテ水流靜穩ナリ而シテ御船川加勢川ヲ合セ大ヲナシ平野ヲ屈曲西流シテ島原灣ニ注ク

大矢川 阿蘇外輪山南側ノ水ヲ集メ本流上流部ニ注ク

御嶽村横野附近マテハ兩岸稍開ケ川幅五間乃至一〇間河
岸ハ岩盤ヨリ成リ河床ハ礫多ク高サ八〇尺ノ龍宮瀧アル
外勾配一様ニシテ一〇〇分ノ一許ナリ。横野ニ高サ一四
〇尺許ノ横野瀧アリ之ヨリ下ハ兩岸ニ熔岩ノ斷崖高ク屹
立シ峡谷ヲナシ段流多ク河況峻ニシテ勾配四〇分ノ一許
ナリ

笹原川 大矢川ノ西之ニ並行シテ本流ニ注ク。都々良
川合流點ヨリ野尻迄ハ兩岸ニ丘陵連リ河岸ハ岩盤ヨリ成
リ河床ハ礫多ク所々基盤タル岩盤露出シ又ハ轉石散在シ
勾配六〇分ノ一ナリ野尻ニ高サ一〇〇尺ノ聖ヶ瀧アリ之
ヨリ下ハ兩岸稍開ケ河床砂礫ヨリ成リ勾配八〇分ノ一許
ナレト本流合流點ニ近ツケハ鶴ノ子瀧ヲ始メトシ高サ四
〇尺乃至一〇〇尺餘ノ瀧三アリ勾配甚タ急ニシテ合流點
ヨリ三〇〇間許ノ間ノミヲ取レハ六分ノ一許ナリ

内大臣川 國見山ニ源ヲ發シ北流シテ本流ニ注ク急峻
ナル山岳ノ溪谷ヲ流下シ河幅五間乃至一〇間河岸粘板岩
等ヨリ成リ河床ニ大ナル轉石散在シ段流ナケレト勾配一
八分ノ一許ナリ

七瀧川 阿蘇外輪山南西側ノ水ヲ集メテ成ル中島村金
内附近ヨリ瀧尾村下鶴ナル八勢川合流點迄ハ多少開キタ

テ見ルニ本水系ニ屬スル河川ノ流量ハ其ノ流下スル所ノ
狀況ニヨリ多大ノ相違アリ

先ツ一年間ニ於ケル流量變化ノ狀況ヲ見ルニ大體ニ於
テハ一般河川ト同シク十一月十二月ハ流量少ク之ヨリ四
五月迄次第ニ増加シ五月中旬以後次第ニ少ク梅雨期ニ入
ルヤ急ニ増水シ六七八月ハ一般ニ多ク九月ヨリ次第ニ減
少ス。而シテ月平均流量ノ最小ハ各河川共十一月又ハ十
二月トアレト一年間ノ最小流量ハ趣ヲ異ニシ流域ノ森林
極メテ良好ニシテ用水ナキ内大臣川ニ於テハ常ニ冬期ニ
起リ春夏ノ候ト雖常ニ流量豊富ナレト其ノ他ノ河川ニ於
テハ用水關係アルヲ以テ五六月ノ頃減水著シク本流中流
以上大矢川笹原川等ニ於テハ年ニ依リ五六月ニ起ルコト

緑川水系流量表 (本省調査)

順位 番順位	河川	測水所	流域 面積	年次				流域一方里常流量						
				大正八年 (前年)	大正九年	大正十年	大正十一年 平均	最大	平水	低水	最小	最大	平水	低水
1	七瀧川	熊本縣上益城郡七瀧村 熊本縣七瀧小川野	四四〇	1,080	五九	五〇	三三	二二	三三	三三	二二	二二	二六	七一
				三六〇	五五	五〇	三三	二二	三三	三三	二二	二二	二六	七一
				二九〇	五〇	四七	三三	二二	三三	三三	二二	二二	二六	七一
				一六〇	五〇	四七	三三	二二	三三	三三	二二	二二	二六	七一
				一〇〇	五〇	四七	三三	二二	三三	三三	二二	二二	二六	七一

ル所ナキニアラネト兩岸概ネ山岳丘陵連亘シ河幅ハ四五
間ヨリ一五間許ノ間ニ變化シ河床河岸共ニ柱狀節理明ナ
ル熔岩盤ヨリ成リ河床ニハ礫轉石アルコト多ク高サ四〇
尺餘ノ觀音瀧一〇〇尺許ノ福良瀧一二〇尺許ノ七瀧ヲ始
メトシ段流極メテ多ク河川全體トシテノ勾配四三分ノ一
而シテ上記著名ノ瀧ヲ除クモ尙勾配七〇分ノ一乃至四〇
分ノ一ナリ

八勢川合流點ヨリ下ニ於テハ河幅一〇間乃至二〇間兩
岸稍開ケ河岸ハ主トシテ岩盤ヨリ成リ河床ハ土砂礫ヨリ
成リ又所々轉石多ク勾配一〇〇分ノ一内外ナリ然レトモ
用水取入口多ク玉石ヲ以テ作レル堰堤所々ニ在ルヲ以テ
河況奇異ナリ

八勢川 七瀧川ノ北ヲ略之ニ平行シテ流ル兩岸ニ丘陵
連レト河畔ニ水田多シ河床河岸基盤ハ柱狀節理アル阿蘇
熔岩ニシテ河岸ハ多ク露出シ河床ニハ礫多ク段流アル所
一、二アリ又七瀧川合流點附近ハ大ナル轉石多ク勾配四〇
分ノ一許ナリ

(三)流量 本水系中本省ニ於テ流量ヲ實測セルハ七瀧川
ノミナルモ其ノ他ノ河川ニ就テハ緑川電力株式會社並日
本窒素肥料株式會社等ニ於テ實測セルモノアリ是等ニ就

ト冬季ニ起ルコトアレト七瀧川ニ於テハ常ニ五六月ニ起
リ灌漑時期中ハ少シク旱天續ケハ流量著シク減ス

月平均流量ノ最大及一年ヲ通シテノ最大流量ハ各河川
共六月乃至八月ニ在リ

流域面積一方里當ノ流量ハ其ノ差著シキモノアリ其ノ
最大ナルハ内大臣川ニシテ湯水量二〇個許緑川本流之ニ
次キ一四個許七瀧川一〇個餘而シテ大矢川笹原川ハ比較
的少ク八個許ナリ

洪水量ニ對シテハ充分ナル材料ナケレトモ一方里當一、
〇〇〇個内外ナルヘシ而シテ上流部ハ兩岸ニ山岳連リ下
流平野ニ於テハ堤防アルヲ以テ汎濫スルコトナシ

(参考)

緑川水系流量表 (電氣事業者調査)

事業者	河川	測水所	面積	流量				流域一方里當流量				
				年次	最大	平均	低水	最大	平均	低水	最小	
日本窒素肥料株式会社	緑川	熊本縣下益城郡東郷用村	三〇四	大正八年	四〇三	三六六	三三九	三三九	一九七	一六四	一四二	一四三
				大正九年	三〇〇	四四五	三五五	三三六	二四九	二〇二	一七二	一四五
				大正十年	五二	三三七	三三三	三三六	三三九	二〇二	一七二	一四五
				大正十一年	五二	三三七	三三三	三三六	三三九	二〇二	一七二	一四五
				平均	五二	三三七	三三三	三三六	三三九	二〇二	一七二	一四五

三 水利及治水

(一) 概説 本水系上流部ハ山岳連亘スルヲ以テ洪水ノ虞少ク下流平野地方ハ堤防アリ洪水ノ害少シ。本流上益城郡宮内村以下加勢川飽託郡日吉村以下及派川嘉永新川ニハ大正七年四月十二日ヨリ河川法ヲ施行セラレタリ又支流御船川及加勢川上流部ハ大正五年十月十二日河川法準用認可セラレタリ。本水系ノ水利事業トシテハ用水ヲ第一トシ發電水力之ニ次キ流材漁業モアリ

(二) 治水 緑川ハ明治四十三年十月第一期直轄河川ニ指定セラレタレト今尙工ヲ始ムルニ至ラス
本水系下流部ニ於ケル治水工事ハ主トシテ昔時加藤清正公ノ營マレシ所ニシテ現今ニ至ルマテ完全ニ舊狀ヲ保

九太ハ凡テ後流ニ依リ一年凡ソ二〇、〇〇〇石餘ヲ流下ス。御船川ニ於テハ御船町以下ニ限り後流ヲ主トシ一年凡ソ六〇〇〇石ヲ流下ス

舟航ハ下流部一帯ニ在リ川尻町ヲ中心トセリ

(四) 用水 本流甲佐町以下御船川御船町以下及木山川沿岸一帯ニ廣大ナル平野アリテ水田開ケタレハ用水頗ル多ク枚舉ニ違アラス是等ヲ除キ上流部ニモ所々水田アリテ用水取入レラレ長大ナル用水路開鑿セラレタルアリ然レトモ灌溉反別何レモ小ナリ主ナルモノ左ノ如シ

河川	取入口位置	灌溉反別
七瀬川	中島 ^{天守} 金内	四五 ^町
同	瀧尾廣瀬	一八
同	同 玉出	二七
同	同 六地藏	一五
大矢川	朝日佛原	一四
笹原川	御岳笹原	五四
八勢川	七瀬田代	一〇〇
同	同 上野	六〇

備考 右ニ掲ケタル河川ニ於テモコノ外尙小ナルモノアリ其ノ他本流下流部木山川加勢川御船川ヲ始トシ屋形川赤井川五老ケ瀬川千瀬川其ノ他ノ支流ニモ多數アレト省略セリ

熊本通信局區内 第二十九章 緑川水系

チヨク治水ノ目的ヲ達セリ公ノ工事ハ堤防ノ築造河身ノ變更新川ノ開鑿等各方面ニ亘リテ其ノ設計肯綮ニ中リ工亦周到眞ニ驚嘆スヘキモノアリ

(三) 流材及舟航 現在流材行ハルルハ本流ニ於テハ甲佐町以下御船川ニ於テハ御船町以下ニ限レリ。舊來ハ緑川本流ニ於テハ最上流部ヨリ川尻ニ至ルマテ流材アリシモ大正七年中日本窒素肥料株式会社緑川發電所成ルヤ河水大部分取入レラレ流材甚タ困難トナリシヲ以テ國有林ノ産物ヲ始メトシ民有林産物ニ至ルマテ大部分陸送ニ依リ甲佐町附近迄搬出セラレ之ヨリ舟筏ニ依リテ川尻方面ニ送ラルルコトトナリダレハ甲佐町以上ニハ角材丸太等ノ管流ナキニ非サレト極メテ少ク甲佐町以下ニ於テハ角材

(五) 漁業 本支流共鰻、鯉其ノ他ヲ産シ本流中流以下及御船川ニハ鮎アリ。其ノ内鮎最著シク年産額一八〇〇〇圓許其ノ他ノ魚類合セテ七、〇〇〇圓合計二五、〇〇〇圓許ナリ鮎ハ六月ヨリ十月迄其ノ他ハ四季ヲ通シテ漁獲サル

四、水力地點

(一) 概説 本水系ニ於テハ本流ハ甲佐町以上及上流部ニ合流スル大矢川笹原川内大臣川並七瀬川及其ノ支流八勢川等ハ勾配急ナレハ之ヲ水力ニ利用スヘシ而シテ本流及其ノ上流ニ合流スル支流ハ最有利ニシテ其ノ主要部分ハ既ニ全部許可トナリ内一ヲ除ク外發電所既ニ竣功セルヲ以テ今後利用セラルヘキハ極メテ少許ニ過キス。支流ニ於テハ七瀬川及八勢川ハ流量貧弱ナレトモ勾配急ナレハ之ヲ利用スヘク是等ニ於テ一度許可トナリシ地點アルモ會社解散セルヲ以テ目下許可地點ナシ

綠川水系許可地點一覽表

Table with columns: 種別, 發電開始, 未開始, 合計, 百馬力-五百馬力, 五百馬力-千馬力, 千馬力-五千馬力, 五千馬力-一萬馬力, 一萬馬力以上, 合計. Rows: 1, 2, 3, 4, 5.

綠川水系選定地點一覽表

Table with columns: 地點數, 馬力數, 低馬力, 水馬力, 平馬力, 水馬力, 合計. Rows: 1, 2, 3, 4, 5.

綠川水系選定水力地點表

Table with columns: 順位, 河川, 番地點, 取入口, 放水口, 水量, 落差, 馬力數, 巨水長路, 面流域, 能發電率, 年平均馬力數, 等級. Rows: 1, 2, 3.

(二) 水力地點ノ説明

順位一、二〇一 元調査局地點一、五〇五ヲ上流ニ移セルモノナリ觀音瀧ノ上ヨリ取入レ福良瀧ノ下ニ放水スヘシ之ヨリ下ノ支流合流點迄取ルトキハ落差ハ増スヘキモ水槽ヲ置クヘキ位置ナシ。水路ハ右岸ニ取リ大部分隧道トスヘシ上流金内附近ニ取入ルル用水アリ附近ニ車馬ヲ通スヘキ道路アリ

第三十章 白川水系

一 流域

(一) 地形 白川水系ノ流域ハ熊本縣中部ヲ占メ阿蘇菊池上益城飽託ノ四郡ニ跨リ直徑大凡六里圓形ヲナセル阿蘇

山舊火口ト其ノ西端ヨリ海ニ至ル迄長サ一〇里幅二里半帶ノ如ク東西ニ延長セル部分ヨリ成リ面積三二方里アリ阿蘇火山ハ扁圓錐體ヲナシ頂上ニハ廣大ナル舊火口ヲ有シ其ノ火口中略東西ノ一線上ニ根子岳高岳烏帽子岳往生岳等ノ火口丘聳立シ以テ標式的二重火山ノ特相ヲ示セリ此ノ火口丘ノ南北ニ外輪山トノ間ニ廣キ火口原アリ北ナルヲ阿蘇谷トイヒ南ナルヲ南郷谷ト稱ス

外輪山ハ東部ニ於テ中央火口丘ナル根子岳ニ接セルト西部ニ於テ立野火口瀨アル外概シテ甚タシキ高低ナク其ノ頂ハ高サ三、〇〇〇尺内外ニシテ圓形ヲナシ菊池川、筑後川、大野川、五箇瀨川、綠川ノ諸水系ト白川水系トノ流域ヲ分チ外部斜面ハ緩傾斜ヲナセト内部斜面ハ極メテ急ナル傾斜ヲナシ其ノ頂ハ一水平線ニ沿ヒ岩石露出セリ舊時該火口湖ナリシ時ノ汀線ヲ思ハシム